

# Smile 通信



平成23年7月 編集・発行／埼玉県住まいづくり協議会  
〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3-12-10(埼玉県住宅供給公社内)  
TEL 048-830-0033 ホームページアドレス <http://www.sahn.jp>

永田家長屋門



## Contents

### シリーズ埼玉の住まい

商都 大宮 ..... 表紙、2・3頁

平成23年度総会 ..... 4・5頁

### 平成23年度第1回講習会

講演「東日本大震災によるエネルギー消費の取り組みの変化」 ..... 6頁

パネルディスカッション「被災地における

応急仮設住宅建設の状況」 ..... 7頁

埼玉住み心地の良いまち大賞募集開始 ..... 8頁

武井新委員長の就任あいさつ ..... 8頁

vol.44

# 商都 大宮

埼玉県立近代美術館

専門員 兼 学芸員 伊豆井 秀一



大宮聖愛教会



西原医院



大宮製油



中村家

北関東の要としてダイナミックな動きを続ける大宮。ビルの立ちならぶ大宮駅西口だが、その一角に大宮初の鉄筋コンクリートの建築大宮聖愛教会があり、わずかに昔の面影をとどめている。その後側、岩槻街道に面してたつのは石丸酒店。創業は明治二十年代。当代弁二郎氏は三代目。その昔は造り酒屋。木造二階建て。一階は帳場だった店と金庫の残る和室、二階は二間。それに蔵。一部の変更はあるが、ほぼ創建当初のまま。こう見ると通常の酒店だが、この蔵を立ち飲み角打石丸に仕様変更。夕暮れ時のサラリーマンの集う場所となっている。

逆の東口。氷川参道へ通じる一宮通り。このあたりには何軒か時代の雰囲気を伝える建造物が見られる。駅に近い方から藤屋、その右手に下見板張りの木造二階建ての洋風の建物。近くに寄ると歯科医師会会員の表札。中村家。昭和五(一九三〇)年築。建設当初は瓦屋根の続く家並みにかなりモダンに映じ、道路に面していた対策そのため診療は二階で行われ、日常生活はリヤカーなどの駐車場の隣接する一階で行われていたといふ。文豪太宰治が大宮時代に訪れた昭和元(一九二六)年築の酒屋大西屋はその先。

手前の通りを右側に折れると建築ファンが見上げる大宮製油。創業は明治三十九(一九〇六)年。スクラッチタイルの木造二階建て。昭和二(一九二七)年の築。縦長の突き上げ窓、もと玄関のモダンな欄間のデザインの残るこの建物

が、その一角に大宮初の鉄筋コンクリートの建築大宮聖愛教会があり、わずかに昔の面影をとどめている。その後側、岩槻街道に面してたつのは石丸酒店。創業は明治二十年代。当代弁二郎氏は三代目。その昔は造り酒屋。木造二階建て。一階は帳場だった店と金庫の残る和室、二階は二間。それに蔵。一部の変更はあるが、ほぼ創建当初のまま。こう見ると通常の酒店だが、この蔵を立ち飲み角打石丸に仕様変更。夕暮れ時のサラリーマンの集う場所となっている。

逆の東口。氷川参道へ通じる一宮通り。このあたりには何軒か時代の雰囲気を伝える建造物が見られる。駅に近い方から藤屋、その右手に下見板張りの木造二階建ての洋風の建物。近くに寄ると歯科医師会会員の表札。中村家。昭和五(一九三〇)年築。建設当初は瓦屋根の続く家並みにかなりモダンに映じ、道路に面していた対策そのため診療は二階で行われ、日常生活はリヤカーなどの駐車場の隣接する一階で行われていたといふ。文豪太宰治が大宮時代に訪れた昭和元(一九二六)年築の酒屋大西屋はその先。

手前の通りを右側に折れると建築ファンが見上げる大宮製油。創業は明治三十九(一九〇六)年。スクラッチタイルの木造二階建て。昭和二(一九二七)年の築。縦長の突き上げ窓、もと玄関のモダンな欄間のデザインの残るこの建物

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたこともある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつている。

片庭の出格子が二つある門右側は畠敷きの本格的な住居となつている。門内の左側の木造二階の住宅は今では使われていないが、一階が診察室、二階が和室二部屋。新婚の夫婦用で、主屋で料理、食事をしたと先代の奥様信子さんは語る。桜草の保存運動で徳富蘇峰らが訪れた茅葺きの蔵続きの離れには今では使われていないが、一階が診察室、二階が和室二部屋。新

ここからは、少し離れたところ

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。

大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたことがある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつている。

片庭の出格子が二つある門右側は畠敷きの本格的な住居となつている。門内の左側の木造二階の住宅は今では使われていないが、一階が診察室、二階が和室二部屋。新

婚の夫婦用で、主屋で料理、食事をしたと先代の奥様信子さんは語る。桜草の保存運動で徳富蘇峰らが訪れた茅葺きの蔵続きの離れには今では使われていないが、一階が診察室、二階が和室二部屋。新

ここからは、少し離れたところ

# 商都 大宮

埼玉県立近代美術館

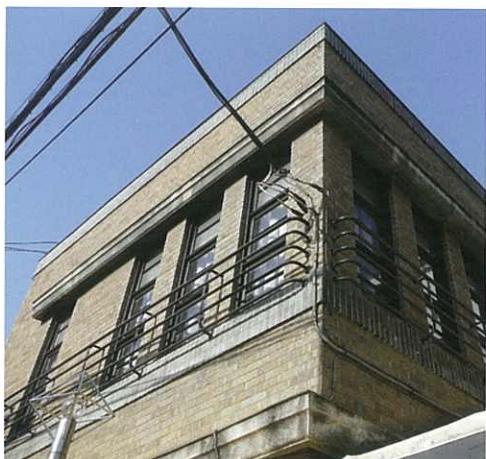
専門員 兼 学芸員 伊豆井 秀一



大宮聖愛教会



西原医院



大宮製油



中村家

北関東の要としてダイナミックな動きを続ける大宮。ビルの立ちならぶ大宮駅西口だが、その一角に大宮初の鉄筋コンクリートの建築大宮聖愛教会があり、わずかに昔の面影をとどめている。その後側、岩槻街道に面してたつのは石丸酒店。創業は明治二十年代。当代弁二郎氏は三代目。その昔は造り酒屋。木造二階建て。一階は帳場だった店と金庫の残る和室、二階は二間。それに蔵。一部の変更はあるが、ほぼ創建当初のまま。こう見ると通常の酒店だが、この蔵を立ち飲み角打石丸に仕様変更。夕暮れ時のサラリーマンの集う場所となっている。

逆の東口。氷川参道へ通じる一宮通り。このあたりには何軒か時代の雰囲気を伝える建造物が見られる。駅に近い方から藤屋、その右手に下見板張りの木造二階建ての洋風の建物。近くに寄ると歯科医師会会員の表札。中村家。昭和五(一九三〇)年築。建設当初は瓦屋根の続く家並みにかなりモダンに映じ、道路に面していた対策そのため診療は二階で行われ、日常生活はリヤカーなどの駐車場の隣接する一階で行われていたといふ。文豪太宰治が大宮時代に訪れた昭和元(一九二六)年築の酒屋大西屋はその先。

手前の通りを右側に折れると建築ファンが見上げる大宮製油。創業は明治三十九(一九〇六)年。スクラッチタイルの木造二階建て。昭和二(一九二七)年の築。縦長の突き上げ窓、もと玄関のモダンな欄間のデザインの残るこの建物

が、その一角に大宮初の鉄筋コンクリートの建築大宮聖愛教会があり、わずかに昔の面影をとどめている。その後側、岩槻街道に面してたつのは石丸酒店。創業は明治二十年代。当代弁二郎氏は三代目。その昔は造り酒屋。木造二階建て。一階は帳場だった店と金庫の残る和室、二階は二間。それに蔵。一部の変更はあるが、ほぼ創建当初のまま。こう見ると通常の酒店だが、この蔵を立ち飲み角打石丸に仕様変更。夕暮れ時のサラリーマンの集う場所となっている。

逆の東口。氷川参道へ通じる一宮通り。このあたりには何軒か時代の雰囲気を伝える建造物が見られる。駅に近い方から藤屋、その右手に下見板張りの木造二階建ての洋風の建物。近くに寄ると歯科医師会会員の表札。中村家。昭和五(一九三〇)年築。建設当初は瓦屋根の続く家並みにかなりモダンに映じ、道路に面していた対策そのため診療は二階で行われ、日常生活はリヤカーなどの駐車場の隣接する一階で行われていたといふ。文豪太宰治が大宮時代に訪れた昭和元(一九二六)年築の酒屋大西屋はその先。

手前の通りを右側に折れると建築ファンが見上げる大宮製油。創業は明治三十九(一九〇六)年。スクラッチタイルの木造二階建て。昭和二(一九二七)年の築。縦長の突き上げ窓、もと玄関のモダンな欄間のデザインの残るこの建物

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたこともある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅片庇の出格子が二つある門右側は畳敷きの本格的な住居となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅が診察室、二階が和室二部屋。新婚の夫婦用で、主屋で料理、食事をしたと先代の奥様信子さんは語る。桜草の保存運動で徳富蘇峰らが訪れた茅葺きの蔵続きの離れには今では使われていないが、一階が診察室、二階が和室二部屋。新

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたことがある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅片庇の出格子が二つある門右側は畳敷きの本格的な住居となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅が診察室、二階が和室二部屋。新

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたことがある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅片庇の出格子が二つある門右側は畳敷きの本格的な住居となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅が診察室、二階が和室二部屋。新

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたことがある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅片庇の出格子が二つある門右側は畳敷きの本格的な住居となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅が診察室、二階が和室二部屋。新

は、昭和四十(一九六五)年頃少し離れたところからの曳家。背後には先々代が建てた明治期の木造二階建ての主屋、蔵がならぶ。大宮区役所を過ぎた仲町通りにある下見板張り木造二階建ての西原小児科医院は、十三代続く名医で、先祖は長崎大村藩、大正十一(一九二二)年築の典型的な医院建築である。

江戸期には、天領、私領が併存し、名主が多かつたためか、中心街を離れると、多くの長屋門を見ることができる。あまり知られてはいないが、これは大宮の大きな魅力である。

そのひとつ、永田家。川越線指扇駅が最寄り。代々名主を務め、当主は十五代目。先代永田二郎は洋画家で県立博物館でも取り上げたことがある作家。豪壮な江戸期の長屋門にいたるアプローチ、門前の広い空地、屋敷周辺をめぐらす堀、門と一帯になつた築地塀とのとりあわせは、もと陣屋といいうだけに風格もあり、すばらしい建築で市指定文化財となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅片庇の出格子が二つある門右側は畳敷きの本格的な住居となつていてある。門内の左側の木造二階の住宅が診察室、二階が和室二部屋。新

に建築界では「カンノボックス」と呼ばれている住宅がある。菅野家。昭和四十六年（一九七一）年建築。

宮脇檀設計。木造二階建てだが、中二階の食堂水回りを含め、家全体が一つの部屋のようにつながつて立体的なワンルームというコンセプト。これこそ中を拝見してみなければわからない。外殻は堅固なコンクリート、内部はまたかく柔らかな木造という混構造で、宮脇のボックスシリーズの三作目にあたる。

一端市内に戻り、東武野田線大宮公園駅を出、盆栽村を通り抜け大産業道路を渡ると住宅街が広がる。このあたりはもと畠地。長屋門の家が点在する一角の高台にひときわ目立つ住居、外壁腰部分の下見板張りが美しい小島（こじま）家。こちらは後述する小島（おじま）家の分家。正己氏は九代目。おそらく慶応期のものというが、村長も務められている。敷地は土塀に囲まれ、蔵一棟、これも慶応期とう木造平屋の主屋は八畳四間を戸が部屋を区切り、南、西に廊下をめぐらす。外側には戸袋、格子などを見沼用水をたどり北に進むと先述の幕末に高野長英を置いたといふ小島（おじま）家の長屋門。剣道場、物置にと使用されていてが、重厚さに加え、与力窓、出格子とこちらは表情が豊かである。さらに北に進むと本郷町。このあたりも開発が進んでいるが、

の一角に緑のこんもりとしたところがある。

にはこうした建物が併存しているのである。

緑青の美しい「直道館蓮見道場」の看板のある長屋門が正面に堂々と敷石の向こうに見えてくる。蓮見家。十六代傳次郎氏が明治三（一八七〇）年岩槻城から移築したもの。向かって左側が剣道場、右が書庫として使われていた。門のなかには向かって左に江戸期の蔵二棟、正面に賓客用といふ三年がかりで建てた木造二階建の主屋、右には製茶用の「ほいろ場」を改修した木造平屋等、宏壮なお宅である。天にも届かんばかりの檜は屋敷林の象徴、主屋の背後で十九代続いてきた当家の歴史をじつと見守ってきた。

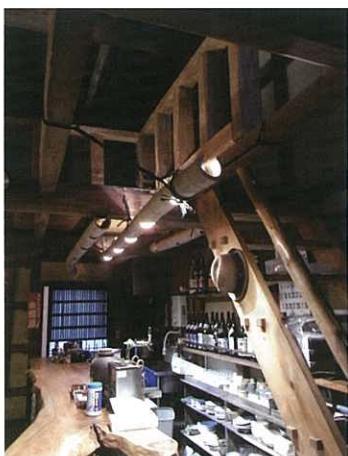
現代建築から江戸時代にまでさかのぼる古いものまで、商都大宮伊豆井秀一（いづいひでかず）（昭和二十四年生まれ。埼玉県立博物館、埼玉県立近代美術館、埼玉県教育局生涯学習課を経、現在埼玉県立近代美術館専門員兼芸術員。専門は日本近・現代美術。著書に『昭和の美術』（共著毎日新聞社）、『小茂田青樹画集』（共著日本経済新聞社）など。



小島（こじま）家



小島（こじま）家 長屋門



石丸酒店 内部



蓮見家 長屋門



菅野家（カンノボックス）



# 平成23年度 総会開催

5月24日さいたま市

去る5月24日、さいたま市のさいたま商工会議所会館において、平成23年度協議会総会が開催された。規定により、宮沢会長が議長となつて審議は進められた。上程、審議され可決された議案は、以下の通りである。

第1号議案 平成22年度事業報告（案）  
第2号議案 平成22年度収支決算（案）  
第3号議案 平成23年度事業計画（案）  
第4号議案 平成23年度収支予算（案）  
第5号議案 役員の選任について

このうち、第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案はそれぞれ、関連するものとして一括上程された。第5号議案を含む全ての議案は、全員の拍手によって了承された。また、第5号議案の人事、報告事項から、新役員、新運営委員、新事務局長等を掲載した。

## 平成22年度事業報告

### 〔情報普及部会〕

○住生活月間シンポジウムの開催  
平成22年10月 浦和コルソホール

○きずなを深める住まいづくりを考  
える（をメインテーマに）  
第一部：「サザエさん一家は幸福みつ  
けの達人ぞろい」（家族の絆は明  
るい住まいから） 声優増岡弘氏  
第二部：「シェアハウス（リノベー  
ションによる「きずな」の再生）」  
水谷紀枝氏

○展覧会・埼玉住み心地の良いまち  
大賞作品展覧会  
・住宅リフォーム推進委員会展示  
・埼玉県環境建築住宅賞（住宅部門）  
応募作品展示・投票

○会員向け講習会の開催  
・第1回講習会：平成22年5月  
「まちなみと住まいの色彩景観の見  
方・考え方」 アメニティプランナー  
葛西紀己子氏  
・第2回講習会：平成23年2月  
S w i t c h ! S t a t i o n 東京電力株

②新宿地域冷暖房センター 株工ネルギーアドバンス  
・第3回講習会：平成23年2月  
埼玉県環境建築住宅賞住宅部門受賞  
作品発表

## 平成22年度収支決算

### 一般会計

収入	1098万1140円
支出	841万9418円

収入	344万4625円
支出	134万7219円

収入	419万3832円
支出	203万3134円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	344万4625円
支出	344万4625円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	344万4625円
支出	344万4625円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	344万4625円
支出	344万4625円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

### 防犯アドバイザー特別会計

○活動報告のメディアへの情報発信	○定期講習会参加者への表彰実施
○新規登録事業者向け説明会を5回実施	○定期講習会を6回実施。（うち1回はシンポジウム併催）
○住生活月間シンポジウム会場でリフォーム展示を実施	○新規登録事業者向け説明会を5回実施

事業者技術力向上支援講習会（国庫補助事業）の「長期優良住宅」について講習会を実施した。

## 平成23年度事業計画

### 一般会計

収入	1098万1140円
支出	841万9418円

収入	344万4625円
支出	344万4625円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

収入	198万6712円
支出	198万6712円

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討

### 情報普及部会

○会員向け講習会の開催（年2回開催）	○会員向け講習会の開催（年2回開催）
○協議会会員の募集活動についての研究	○新たな情報発信の方法の検討



協議会情報普及部会では、5月24日の総会後、今年度第1回の講習会を開催いたしました。講習会は2部構成でございました。東日本大震災に関する内容の、小野田弘士氏の講演の一部と、パネルディスカッションの模様を、ここに掲載します。

なお、当日小野田弘士氏がお話しされた「本庄スマートエネルギー・タウンプロジェクトの目指すもの」は、次号に掲載する予定です。

## 平成23年度 第1回 情報普及部会 講習会 第1部 講演

# 東日本大震災による エネルギー消費の 取り組みの変化

早稲田大学環境総合研究センター  
准教授 小野田弘士氏



今までのエネルギーに対する「コスト」、「省エネ」、「CO<sub>2</sub>削減」という観点に、今回の震災により「節電」という考え方があわされました。

今、一番多い相談は、この夏どうやつて営業すればよいかという話です。

しかし、「産業」と「業務」で「節電」への対応は異なります。工場みたいなところは、基本的に、電力が来るのか来ないのかというところがはつきりすれば、ある程度計画的にできます。

この「コスト」、「省エネ」、「CO<sub>2</sub>削減」+「節電」に関するひとつの例を上げます。

東京都のCO<sub>2</sub>排出量の多い順番に並べると、東京大学、日本空港ビル（羽田空港）、サンシャインシティ、恵比寿ガーデンプレイスとなります。

東京大学は、特に東大病院が多くのCO<sub>2</sub>を出しているということはよく知られています。（私どもの早稲田大学は、このトップテンには入りませんが、新宿区では一番排出している事業



者になります。）

このように東京都は、トップテンに工場が一個も入っていないという特徴があります。このため厳しい条例を課すことができたという背景があります。

こういった中でCO<sub>2</sub>の大量排出事業者の一つにホテルニューオータニといたま私は、そのホテルニューオータニのエネルギー消費量の分析を

やる機会が数年前にありました。ご案内の方もいらっしゃると思いますが、ニューオータニは、省エネやCO<sub>2</sub>削減に積極的なホテルでございます。

このホテルニューオータニが、どのようにエネルギー消費量を減らしてきましたかについて触れたいと思います。このホテルでは、いわゆる「コジエネ」が導入されています。コジエネというものはガスを燃やして発電機を回し、発

生した排熱も有効利用しようというシステムです。

ホテルニューオータニがとつてきた戦略というのは、そのコジエネとなるべく使わないという形で対策してきました。

要は、家庭に置きかえますと、ガスと電気の併用住宅からオール電化に近づけるというような方向に様々な政策を打つてきたということです。そ

の結果CO<sub>2</sub>排出量も、エネルギー消費量も下がったという結果がさまざまあります。この結果CO<sub>2</sub>排出量も、エネルギー消費量も下がったという結果がさまざまあります。ホテルの対策としては、非常に好事例として知られています。

このなるべく電気を使うやり方は、「コスト」、「省エネ」、「CO<sub>2</sub>削減」を主要目標にした、従来型の議論ではそれでよかつたのです。

しかし、仮に同様のホテル等で私がアドバイスを求められたら、今年の夏に関しては、現在、止めたり、稼働率を落としているコジエネを、むしろ1

00%動かしていただきたい。それによつて数百キロワットの電力が落とせますと提案します。

節電という視点が入ってくることによつて、求められる省エネ対策とか施設側でやらなければいけない対策は、変わつてくるのです。エネルギー周りの専門をやつている方々は当然それはわかつていてると思うのですが、実務担当者レベルにまでは、まだ行き渡つてないと思います。

節電とか省エネとかCO<sub>2</sub>削減を、一色单で考え過ぎてしまうと、実は全然違うベクトルの話をしているということになりかねないというのが私の印象です。（次号の「本庄スマートエネルギー・タウンプロジェクトの目指すもの」に続きます。）

## 第2部 パネルディスカッション

### 被災地における応急仮設住宅建設の状況

株式会社アキラホーム

新居 健二氏

中央住宅株式会社

笠原 高治氏

司会 協議会相談役

**司会** 新聞、テレビ等々でご存じのとおり、応急仮設住宅が東北方面で多数建築されてまいりました。当協議会でも、本日もご出席の積水ハウスさんや大和ハウスさん等も我々に数倍するご貢献をなさつておられるわけですけれども、たまさか協議会で私も日本木造住宅産業協会という協会の応急住宅部会に入つておりますが、武井さんも新居さんも応急仮設部門の委員でございます。

今日の話は、少し木住協に偏つてきましたが、共通する事項も多いので、このまま進めさせていただきます。

当初は大畠国土交通大臣から3万戸でお願いしたいというような話が業界に参りまして、3万戸とはすごいなと考えていると、すぐに、あと3万戸で合計6万戸やつてくれとか、さらにそろことうしているうちに、あと1万2000ほど上乗せしてくれという話になりました。7万2000戸になつてきました。

ところが、応急仮設が進んでまいりますと、突如として国交大臣から、いや、ちょっと待つてくれと、もう工事やめくれと、多過ぎた、世の中の事情が変わってきた、あるいは応急仮設は意外と人気がない。ばんばん業界のしりをたいたら、これは応急仮設空き家住宅が増えてしまって、今のところは木住協等も1次

工事のときはもう本当に使命感を持つて、現地では本当に脱走兵が出るかなと思うほど頑張つたということもあつたのですけれども、2次工事は、妙なことになりますて、やめろという話になりますと、各社そのつもりで資材調達をしていたり、あるいは職人さんを押さえています。そのためのホテルを確保していたりといったふうなこと等があつて、これからちょっと問題が大きくなりそうだなという懸念を含んでいるというような状況が現状ではないかと思います。

**武井氏** 今お話をいたいたよう、建設用地がなかなか出ないので、ウエイティングの状態が毎週毎週続くという形でございました。監督ですとか大工職人さんとかを確保して、本社から声がかかれればいつでも行けるようについているところで、毎週毎週準備をしてウエイティングをしていたのですけれども、スタートを切るまで時間がかかりました。

それで、調整は大変でした。それから、いざ現地に行きますと、当然のことながら被災をしていきますので、なかなかまとまつた人数が泊まれる宿がありませんので、当初は現地に行くのに片道2時間半、職人たちも朝早起きをして、2時間半車で走つてそこで仕事をして、終わるとまた2時間半かけて宿に帰ってきて、ご飯を食べて寝るわけですが、当然着

ているものだとか、そういうものの洗濯とかも自分でやらなければいけないということで、毎日毎日休みなく仕事をしましたので非常に大変でした。今もやっている最中なのですけれども、大変な毎日を過ごしているということがあります。

あともう一点は、1ヵ所にまとまつたご指名をいただければ一番ありがたいと思っておつたのですが、3ヵ所に建築場所が分かれてしまいました関係で、着工前の調整、色調ですか配置図ですか、それをもとにした県、町、近隣との調整こういったものが予定していたより3倍かかったということで、1日で終わらなければいけないところが例えば1日半かかっただとかいうようなこともあります。

非常に大変だったと思っています。何分にも、全く経験がないところからスタートしましたので、既に業界で

先に、過去にやられた会社さん、ご担当者さんのお話を聞いたりして手探りで、大変な中でも何とか無事やつて、もう間もなく、完工引き渡しというところまで来たところでございます。

**新居氏**

苦労したところはほぼ同じですが、ただ、過去の経験のお話を受け

て、大工さんたちを連れていくときに、まず震災の被害を受けたところを一通り見てから、避難している先に伺い、それから仕事に入つたほうが良い、と言う話を聞きましたのでそのよ

うにいたしました。その所為でしようか、職人さんも一丸となつて使命感を持ってやつていた

ようになりました。

そもそも行くときに声を上げてくれたのが、東北出身の大工さんが多く、みんな自ら声上げて自分の出身地でもある東北の被災地へ來たのです。

ですからもともと、みんな、強い使命感を持ってやつてきました。

そのせいもあつたのでしょうか、25日間、8時から夜6時まで、という厳しいスケジュールを休みなしでやり遂げました。

あと、毎日図面を要求されたり仕様書や図面が変わつたりいたしましたので、そういうことに対応する書類関係の作成だけでもずいぶん大変でした。監督する側としては、おそらくよかれと思ってやるのでしょうか、変わつたと思ったらまた戻つたりすることも多く、随分苦労しました。

**司会** ありがとうございました。被災地で直接工事に当たつた武井氏、新居氏から、お話しを伺いました。本当にご苦労様でした。



## 第7回埼玉住み心地の良いまち大賞実施概要

# 募集開始



# 第7回 良いまち大賞

第6回埼玉県知事賞

表彰  
①埼玉県知事賞（1点）：賞状、副賞（図書券3万円分）  
②埼玉県住まいづくり協議会会長賞（1点）：賞状、副賞（図書券2万円分）  
③審査委員長賞（1点）：賞状、副賞（図書券1万円分）  
④優秀賞（40点）：賞状、副賞（図書券3千円分）  
発表  
10月初旬に受賞者あて通知とともに、表彰式の案内を送付します。また協議会ホームページで発表します  
主催・後援・協賛  
（埼玉県住まいづくり協議会）  
・後援：埼玉県、埼玉県教育委員会  
・協賛：株アキユラホーム、株エポシスティム、株オクタ、  
セイダテ設計事務所、株小泉北関東、財さいたま住宅検査  
センター、株高砂建設、株高橋組、東京ガス株埼玉支店、  
株時田工務店、パナホーム株埼玉支社、株中央住宅、  
株門間工務店、株山田ハウス、ユーディーアイ確認検査株、  
リスクマネージメントサービス神田屋、株リブラン  
※詳細は協議会ホームページをご覧ください

## 被災地へ義援金

住まいづくり協議会では、平成23年3月11日発生の東日本大震災の復興に役立てて頂くため、会員及びリフォーム登録事業者の皆様から義援金を募集しました。ご支援いただきました会員は13社で、登録事業者の皆様から義援金を募集しました。皆様方のあたかなご支援有難うございました。なお、義援金は埼玉県住まいづくり協議会から日本赤十字社へ送金いたしました。

- 応募資格：資格や制限はありません
- 募集作品：埼玉県内の身近な「まち」の良さを再発見し、提案してください
- 必須内容：①タイトル②提案理由③写真または絵④地図
- 作品サイズはA3判横使い
- 応募方法・応募上の注意
- 平成23年9月13日午後5時迄に事務局へ郵送・持参してください
- 応募作品は、一人3作品まで（複数名による合作品の応募はご遠慮願います）
- 未発表の自作品に限ります
- 応募作品は返却しません
- 書籍等での発表・掲載における権利は主催者側が保有します
- 表彰

- ①埼玉県知事賞（1点）：賞状、副賞（図書券3万円分）  
②埼玉県住まいづくり協議会会長賞（1点）：賞状、副賞（図書券2万円分）  
③審査委員長賞（1点）：賞状、副賞（図書券1万円分）  
④優秀賞（40点）：賞状、副賞（図書券3千円分）  
発表  
10月初旬に受賞者あて通知とともに、表彰式の案内を送付します。また協議会ホームページで発表します  
主催・後援・協賛  
（埼玉県住まいづくり協議会）  
・後援：埼玉県、埼玉県教育委員会  
・協賛：株アキユラホーム、株エポシスティム、株オクタ、  
セイダテ設計事務所、株小泉北関東、財さいたま住宅検査  
センター、株高砂建設、株高橋組、東京ガス株埼玉支店、  
株時田工務店、パナホーム株埼玉支社、株中央住宅、  
株門間工務店、株山田ハウス、ユーディーアイ確認検査株、  
リスクマネージメントサービス神田屋、株リブラン  
※詳細は協議会ホームページをご覧ください
- 五
- 六

## 武井啓明 新運営委員長就任のごあいさつ



会員の皆様、並

び

い

た

だ

い

る

皆

様

に

は

平素より

当協議会の活動に

対しご支援ご協力

いただいている皆

様には

平素より

当協議会の活動に